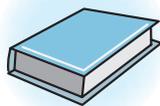


人権教育
ともに生きる 118

如月

古い暦で、二月を「きさらぎ」といいますね。寒い二月に、着重ねる「衣更着」とか。暦の上では春（今月の四日は立春）ですが、一年中でもっとも寒い時季です。ところで、先日、「多久市老人クラブ健康講話」を聴講する機会がありました。講師の先生は、伊万里市にある敬徳高等学校の理事長の稲田繁生さん、演題は「笑いと健康について」でした。お聴きになった方も多いと思います。一部を紹介します。高齢者にとって気をつけたい三つのことは「OKK」である。OKKとは、「怒るな、転ぶな、風邪引くな」。

この三つは、なにも、お年寄りだけの問題ではないようです。怒れば、精神衛生上良くないし、対人関係も損なわれます。転べば怪我、入院も心配ですね。風邪は万病の元といえます。古い話ですが、知人の一人が、オーバーのポケットに手をつっこみ、デパートの階段を歩いて下りていたとき、足を踏みはずし、手を出せず、階段の下まで頭から落ちた事故がありました。地球環境問題（特に、地球温暖化問題）が云々され、ウオームピズを推進している今日、私たちが「衣更着」といきましょう。中島弘之



図書館へ出かけよう。

【休館日】 2 / 5 (月) 11 (祝) 12 (月) 19 (月) 26 (月) 【月末整理】 28 (水)

話題の新刊 おすすめの本



日本の200年

アンドルー・ゴードン

海外において日本近現代史研究で中心的な存在の著者が書いた日本の通史。江戸時代から21世紀の今の日本までを、世界とつなげながら政治や経済と日常の市民生活の関連を描く力作。

やまのおふろやさん とよた かずひこ 作

まっしろな雪がしんしんとふりつづく山の中に、ほかほかゆげがたちのぼるおふろがありました。そこへ、さるやいのししの家族がやってきました。あたたまった動物たちの次にやってきたのは…。



天と地の守り人

上橋 菜穂子 作

第1作目の「精霊の守り人」から始まり10年が経つ、人気の作品「守り人・旅人シリーズ」の最新作。架空の国の皇太子チャグムを中心に物語が展開。困難に立向う主人公や取り巻く人物が実に魅力的。

その他 おすすめの本

- | | | |
|------|--------------------|------------------|
| 成人向き | ◆眠れぬ真珠 | (石田 衣良) |
| | ◆失われた町 | (三崎 亜記) |
| | ◆象と耳鳴り | (恩田 陸) |
| | ◆雪 | (オムハン・パムク) |
| | ◆死顔 | (吉村 昭) |
| 児童向き | ◆声にだすことばえほん・春はあけぼの | (齋藤 孝・編) |
| | ◆ピーター☆パン イン スカーレット | (ジェラルディン・マコックラン) |
| | ◆へんてこパン | (国井 節) |
| | ◆ドキドキ！忍者教室 | (吉川 豊) |
| | ◆料理図鑑 | (おち とよこ) |

市民文芸

《麦の芽短歌会 多久麦の芽互選》

いつしかに秋駆け去り今し散る
苔の上なる銀杏ひとひら
内田 龍子

周作の心にふれし外海村に
隠れ信者の沈黙の有り
田淵ミチ子

捨てられし穴あき靴下雨の中
繕ひし母をなつかしみをり
本村 則子

海を背に周作展は秋時雨
はにかむ遺影に溢れ来るもの
迎 寿代

ひそやかに囁くごとく散るもみじ
深山の秋は足早にゆく
川浪 信子

《楷樹句会 楷樹句会互選》

冬うらら母の匂いの伊予絋
不二見恵美子

木の葉散る老ひてますます時迅し
松尾 孤杖

赤い羽根買える幸せ胸にさす
大坪 豪仁

ひとりより二人がいいと冬紅葉
山口 秋子

逝きし子はどの星ならむ寒の星
春田 泰子

《多久川柳会 林口岳生選》

サクラまで使いやらせの無駄使い
富安 正喜

これも格差か人人の新店舗
高塚チカ子

必修科目受験科目にいじめられ
武富よう平

将校の長靴がよぎる娘のブーツ
川副美智子

研修会やらせさくらもない質疑
田代まつこ